

種子島の歴史・文化・自然について。

テーマ: (種子島の歴史と自然)

写真やイラスト及びその説明 / 場所 (地図上に書き込み, 説明を書く)

※ 注意…単なる引き写しではなく、オリジナリティを追究し、面白い内容を目指すこと。

1. 歴史

鉄砲伝来の地

・1543年、ポルトガル人が漂着し、日本で初めて鉄砲が伝来した地です。

・種子島時堯という領主が鉄砲を購入し、島内の鍛冶職人、板金兵衛が国産化に成功しました。
・この鉄砲伝来が戦国時代の戦術を大きく変え、織田信長らの戦略にも影響を与えました。

中世・近世の島

・種子島は古代から南方交易の要衝で、中国や琉球との交流も盛んでした。

・中世には種子島氏が島を治め、鉄砲の導入以降は「鉄砲の島」として名を馳せました。

・江戸時代には薩摩藩の支配下に置かれ、薩摩と琉球、南方との中断拠点として機能しました。

近代～現代

・明治以降、鹿児島県の一部として発展しましたが、交通の不便さから長く農漁業中心の生活が続きました。

・1974年、種子島宇宙センターが開設され、日本の宇宙開発拠点としても知られるようになりました。

2. 自然

① マングローブ林

西之表市湊川下流域にはメヒルギのマンローブ林が自生しており、南国らしい景観を作り出しています。

② アコウとカジマル

種子島では「アコウ」や「カジマル」といった常緑喬木がよく見られます。特に旧赤尾木城の榕城小学校には樹齢460年のアコウの巨木があり、住吉港の堤防沿いにはカジマルが植えられています。

★見どころ

③ 竹崎海岸と種子島宇宙センター

宇宙センターの近未来的景観と手つかずの自然が対比する種子島ならではの景観が楽しめます。

④ 千座の岩屋

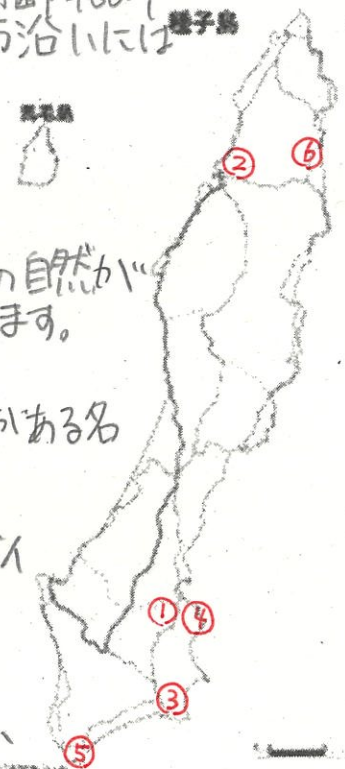
波の浸食によってできた大小無数の岩穴がある名所です。

⑤ 門倉岬

種子島最南端の岬で、断崖絶壁からのダイナミックな景観が魅力です。

⑥ 天女の倉

晴れた日には360度のパノラマが広がり、夜には絶景の星空が楽しめます。



※ 参考文献/出典 (著者名, 書名, 出版社名, 出版年), HP (サイト名, URL)

(例) ・井元正流『種子島』(春苑堂出版, 平成11(1999)年)

・西之表市役所HP (<http://www.city.nishinoomote.lg.jp/admin/index.html>)

Google

評価

A: オリジナルな見解が盛り込まれている。B: 一通り書けている。C: 不十分な分量・内容。